

令和4年度事業計画

I. 活動の基本方針

ポスト”創立40周年記念事業年度”に”新しい風”を吹かせよう！！

来る2030年には「同窓会創立50周年」を迎えます。同窓会員にとっては正に世紀の大イベントといえるでしょう。これからの10年は時代の変節に当り想像さえ付かない目まぐるしい変化の到来となるでしょう。

その要因となるキーワードは「1, W i t hコロナ・P o s tコロナ 2, 定年延長 3, デジタル社会の進行 4, W E B会議の当り前 5, 女性活躍社会の深化 6, 母校レイカディア大学の革新」でしょう。

これらに対応する足がかりを築くために、以下の取組みを個別具体的に着手して参ります。

1、Z e r oコロナは訪れません。しからばW i t hコロナです。今までの”当り前”が”当り前”でなくなれば、新しい”当り前を”受入れなければ世の中の進化に取り残されてしまいます。

同窓会もそうならないように変化の受入れに果敢に挑戦していきましょう。

2、入学応募者の高年齢化は避けられません。何故かと言えば労働人口の不足を補うために定年制の延長が現行の努力規定から義務規定に強化されるでしょう。前期・後期高齢者の概念もおそらく繰下げられるでしょう。それに伴って学生のニーズも社会のそれも大きく変わるでしょう。

3、デジタル社会の深化は必然の様相です。授業のあり方も今とは違って、在宅授業となるかも知れません。通学の必要性がなくなれば、自ずと入学条件や資格も見直されることになるでしょう。HP 運営の立ち位置の重みは、益々大きくなるでしょう。

4、リモート会議と対面会議のバランス感覚が求められます。全てがリモート化かと言えばそうでは無いと思います。人間の本質は集団生活が基本です。本当の意味で心を通わすには対面会議は欠かせません。意思決定（頭脳活動）と現地活動（対面活動）の均衡ある仕組の模索が求められるでしょう。

5、W o m a nパワーとM a nパワーのシンパシーこそ大切です。社会は男女両性で構成されています。いずれも存在意義と能力は変わりません。あらゆる場面で活躍の機会は、均等であることが望ましいのです。同窓会(本部・支部)の様変わった姿を期待致しましょう。

6、母校の有り様は、社会的ニーズに応えられているのか。大学の運営母体である滋賀県社会福祉協議会が、今年「法人認定70周年」を迎えられます。建学の精神は堅持しながらもカリキュラムの編成（ソフト面）、学舎の環境立地（ハード面）に於いて、変革が為されようとしています。

前述の入学階層の変化やデジタル社会の熟度に応じた、フルモデルチェンジを期待する、声の高まりが生れてくるでしょう。

以上、今期（2年間）の同窓会活動は、比較的平穏な任期となるであろう予測が立ちますので、来たるべき次世代の生れ変わった同窓会の様相に、思いを馳せてみる機会といたく思います。新役員ならびに会員の皆様の、ご理解とご協力を御願い申し上げます。

総務研修部会

1. 令和4年度定期総会の開催
日時 令和4年5月11日(水) 13:30~15:30
会場 県立長寿社会福祉センター レイカディア大学草津校 大教室
担当支部 甲賀・湖南支部
2. 第44期学生募集応募要項の配布活動
重点期間 6月1日~7月29日
3. 「無料必修講座」の聴講
草津校、米原校各々で開催。日時および講座内容は大学事務局とで調整

地域活動部会

1. 安全安心を第一に地域活動の継続と拡大を推進
 - ① 草津、米原校サポートの会主催事業に母校支部より参加
 - ② 「美しい湖国をつくる会」活動への積極的参加
2. 「第14回地域活動事例体験発表会」の開催
コロナ感染症の状況を勘案しながら計画を決定、実施する
3. 「地域活動体験学習」ガイダンスへの参画

広報情報部会・HP管理班

1. 「會報つながり39号」の発行
夏号は休止する
 2. 同窓会紹介パネルの写真入替および展示作業
 3. 同窓会新入会者のための同窓会紹介パワーポイントの更新
- <HP管理班>
1. ホームページの随時更新
 2. 管理担当者の交代時の引継ぎルール見直しと支部内サブ担当者配置の検討
 3. バックアップデータの保管環境の設定(本部、支部ごとのデータ保管)